株　式　型

発売日 1990.7.1

2025年3月

【基本的性格】

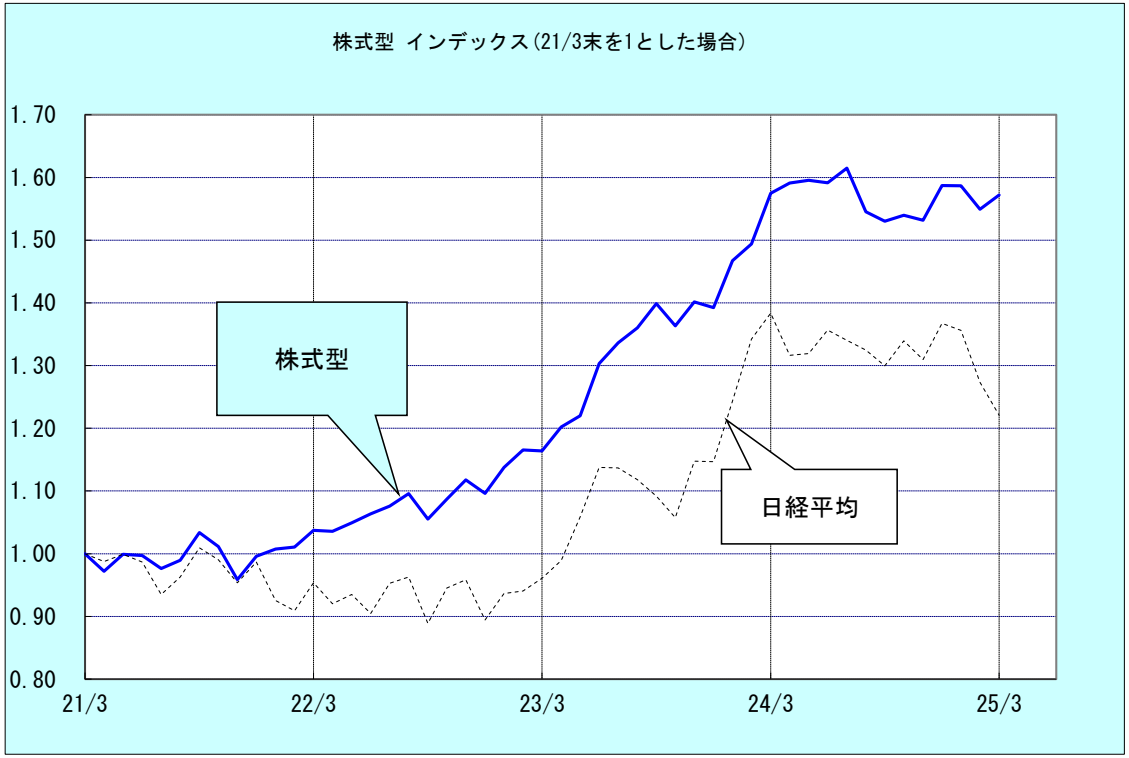
日本の株式を中心に運用します。主に中長期的な視点から銘柄を選定し、ＴＯＰＩＸ（東証株価指数）を上回ることを目標に運用します。
公社債のみで運用する場合よりも高いリターンが期待できるものの、リスクも高いファンドです。組入れ上限の目安としては、外貨建資産への投資は行わず、日本株式は９５％としています。

【3月の運用概況】

国内株式部分は、化学、鉄鋼のウェイトを引き上げる一方、電気機器、機械のウェイトを引き下げました。

【当面の運用方針】

国内株式市場は、上値の重い展開が続くと予想します。企業業績は、トランプ政権の関税政策によるマイナス影響が想定以上に大きくなり停滞局面を迎える可能性が出てきています。バリュエーション面では、過去のリスクオフ局面に近い水準まで低下し、マイナス影響を相応に織り込んだものの、関税政策に伴う不透明感の払拭には時間を要するものとみています。引き続き、当社割安度情報に基づいた銘柄選択を継続する方針です。



【現物資産評価額】 10,041百万円　2025年3月末現在

【現物資産構成比】	
日本株式（除く先物）	88.9%
現預金・コール	9.7%
その他	1.4%
先物含み損益	－
【日本株式ポートフォリオ】	
現物資産	88.9%
先物建玉	－
合計	88.9%
【業種別構成比】	（上位4業種）
電気機器	14.1%
銀行業	13.5%
化学	8.6%
輸送用機器	7.9%

【株式銘柄】	（上位10銘柄）
三菱UFJﾌｨﾅﾝｼｬﾙ･ｸﾞﾙｰﾌﾟ	3.1%
ﾄﾖﾀ自動車	2.6%
三菱地所	2.3%
日本電信電話	2.2%
三井住友ﾄﾗｽﾄｸﾞﾙｰﾌﾟ	2.1%
本田技研工業	2.0%
ﾌｧﾅｯｸ	1.9%
村田製作所	1.9%
ｸﾎﾞﾀ	1.9%
ｷﾘﾝﾎｰﾙﾃﾞｨﾝｸﾞｽ	1.7%

【直近6か月運用実績】	25/03	25/02	25/01	24/12	24/11	24/10
インデックス値	1.5719	1.5492	1.5866	1.5871	1.5318	1.5398
月次利回り(対前月)	1.5%	▲2.4%	▲0.0%	3.6%	▲0.5%	0.6%
資産評価額	10,041	9,931	10,196	10,221	9,899	10,021

（※インデックス値は2021/3を１として算出　資産評価額の単位は百万円 ）

【経過年別運用実績】	直近6か月	直近１年	直近2年	直近3年	直近4年	設定来
騰落率	2.5%	▲0.6%	33.8%	49.4%	54.2%	412.6%
日経平均騰落率	▲6.1%	▲11.8%	27.0%	28.0%	22.1%	11.5%
対日経平均比	8.6%	11.1%	6.7%	21.4%	32.2%	401.1%

【契約年月別・年平均利回り】	2024/4/1	2023/4/1	2022/4/1	2021/4/1	2020/4/1	1990/8/1（設定来）
〈月払契約〉	▲0.2%	7.7%	11.6%	12.0%	13.0%	5.8%
〈一時払契約〉	▲0.6%	15.7%	14.3%	11.4%	15.8%	4.8%

（※ファンドの利回りです。保険料のすべてがファンドに投入されるわけではありません。）

お客様にご確認いただきたい事項

ご負担いただく費用などについてご確認ください。

●お払込みいただいた保険料のうち、その一部はご契約時およびご契約後に下記の費用等にあてられ、それらを除いた金額が特別勘定で運用されます。

〇保険契約の締結、維持に係る費用

〇特別勘定の運用に係る費用

〇死亡保障などに係る費用
※控除される費用は、契約年齢・性別・保険料払込期間等により、契約ごとに異なるとともに、保険期間中変動します。そのため、費用の合計額や計算方法を表示することはできませんので、ご了承ください。

●契約日から１０年以内、かつ保険料払込期間中に解約・減額された場合、解約日の積立金額から経過年数に応じた所定の金額（解約控除）を控除した金額が解約返戻金額となります。
※上記期間経過後は、積立金額と解約返戻金額は同額となります。
※保険料払込方法が一時払の場合は、解約控除は発生しません。

運用リスクについてご確認ください。

●変額保険は、保険金額や解約返戻金額が特別勘定資産の運用実績に基づいて増減する仕組みの生命保険です。

●特別勘定資産は、日本の株式や公社債および外国の株式や公社債などで運用されます。そのため、株価や公社債価格の変動リスク、為替の変動リスク、信用リスクなどの運用リスクがあります。場合によっては、お受け取りになる解約返戻金額が払い込まれた保険料の合計額を下回ることがあり、損失が生じるおそれがあります。なお、各特別勘定の運用方法は、以下のとおりです。

〇国際型　外国の株式を中心に一部日本の株式を組入れ運用します。

〇株式型　日本の株式を中心に運用します。

〇総合型　日本の公社債・外国の公社債を中心に、一部日本の株式および外国の株式を組入れ運用します。

●各特別勘定への繰入割合や積立金の構成割合を変更した場合には、選択した特別勘定の種類によっては運用対象や運用リスクの種類・大きさが異なることとなりますので、ご注意ください。

●変額保険の主契約の死亡・高度障害保険金は、契約時に定めた基本保険金額が最低保証されますが、解約返戻金は最低保証されません。